



華やかで和やかな会場風景

# 養心

第4号

2008年4月15日発行

養心太極拳  
麻紗 主筆  
事務局  
〒164-0003  
東京都中野区東中野  
1-11-16-508  
TEL 03-3365-5868  
FAX 03-3365-5118  
ホームページ  
www.taikyokuken.jp

創刊者 楊名時先生

## 2008年新春懇親会

曾根田 千恵子

2月17日(日)ブランドプリンスホテル赤坂にて、2008年養心会新春懇親会が開催されました。楊名時先生はこの日を曇りどかない素晴らしい晴天にして下さり、100名を越える同業者の方々にご参加下さいました。いつもスマートな司会をして下さる木村鎮夫師範の開会の辞に始まり、春のひざしを集めたような装いの楊名時先生からは、「養心会を立ち上げて2年になります。みな様一人一人のお力をお借りしながら、なんとか形が出来、道が開けてまいりました。養心会をさらに確かなものにしてゆきたいと思っております」という希望に満ちたご挨拶がありました。

つづいて、お忙しいスケジュールの中、出席下さいました来賓の津津良一先生からは、いつもながらの軽妙なスピーチのあとに「今でもお酒を頂いている時などは、楊名時先生と一緒に下さっているような気がいたします」としみじみとした口調でお話し下さいました。2月17日は、偶然にも津津良一先生のお誕生日!!ハッピーバースデーの大会の中、麻紗先生からの花束を少年のような笑顔でお受け取りになられました。

## 養心会三つの心

争わない心  
拘わらない心  
焦らない心

楊名時先生から「先輩」と呼ばれていらつしゃった空手の金澤弘和先生からは、「昨年、麻紗先生の教室へお伺いさせて頂いた折、太極拳を舞っている麻紗先生の姿が、楊名時先生に見えて驚いてしまいました。麻紗先生は受け継がれていらつしゃることに感心いたしました」と熱く話されました。その後、出席者全員の紹介、遠くからは新潟、知多半島の篠島、大阪の方々の紹介がありました。

つづいて、下村のぶ子海産物社社長の乾杯のご発声で、「一同「乾杯!!」楽しい食事と歓談の時へとすすみました。食事と歓談が一段落したところで、三宅純子師範の名司会による余興の始まりです。民謡フルート演奏、コーラス、太極拳経、そしてカラオケと盛りだくさんでした。会場の空気が一瞬のうちに張りつめたようになった、河原達師範のみごとな真剣による居合もありました。

後に会場にいらして下さっているであろう楊名時先生を偲んで、「千の風になって」を全員で合唱し心がひとつになりました。いつもいなせな田村久夫師範による三本締め。最後は高橋裕子師範の「これからも養心会をみんなで盛り立ててゆきましょう」という力強い言葉で閉会となりました。

楊名時太極拳養心会に相応しい、華やかで心あたたまる懇親会でした。



ゲストの先生方と楊麻紗主宰

心からの感謝、ありがたうの気持ちとはとても大切に太極拳の品格にもつながるものと感じました。

初稽古は参加者全員で八段錦と二十四式の演舞。清らかな大河の流れのように気の合った太極拳、不老拳を師範とその他の方々の二回に分けて行いました。参加した教室の先生方と生徒さんの紹介があり、後半は二十四式八段錦を行い、気持の良さを満喫できたくしく温かみのある初稽古で、あつと1時間2時間でした。

楊名時先生の干支がねずみ年で、12年前のねずみ年に先生が書かれた「夢」の文字の写しを参加者全員が戴きました。

最後に養心会の発展を願い、武道場の高い天井に響き渡る全員での三本締めで閉会となり、太鼓の音とともに散会しました。



楊名時先生を偲び「千の風になって」を合唱

## 新春稽古

野田 久子

「ドン・ドン・ドン」太鼓の音と共に新春稽古が始まりました。1月4日午後2時より綾瀬の東京武道館、奈良・新瀨など遠くからの参加者を含め百余名による平成20年養心会のスタートです。

会場は初稽古にふさわしく、天井が高く広々とした気持ちの良い武道場でした。麻紗先生の「新年ハオー」に始まり、昨年9月に逝去された市川寿子先生を偲み、楊名時先生が奈良の能舞台で演舞されている遺影に向かって座礼を行い、麻紗先生のご挨拶、その中でNHKの調査で好きな言葉の1位が「ありがとう」次に「健康」「幸福」と続き、これは楊名時太極拳の目指している目標と同じであるというお話がありました。

心からの感謝、ありがたうの気持ちとはとても大切に太極拳の品格にもつながるものと感じました。

初稽古は参加者全員で八段錦と二十四式の演舞。清らかな大河の流れのように気の合った太極拳、不老拳を師範とその他の方々の二回に分けて行いました。参加した教室の先生方と生徒さんの紹介があり、後半は二十四式八段錦を行い、気持の良さを満喫できたくしく温かみのある初稽古で、あつと1時間2時間でした。

楊名時先生の干支がねずみ年で、12年前のねずみ年に先生が書かれた「夢」の文字の写しを参加者全員が戴きました。

最後に養心会の発展を願い、武道場の高い天井に響き渡る全員での三本締めで閉会となり、太鼓の音とともに散会しました。

激気溢れる師範の演舞

## 名称変更について

主宰 楊 麻紗

2005年7月3日、楊名時太極拳の創始者である楊名時先生が亡くなられました。妻であり一番弟子である私に、楊名時太極拳の王道を歩んでいくようにと、2004年5月3日に「許可書」を書き残されていまして、そこには「養心会」という会の名前まで付けて下さっていました。

その楊名時先生の「許可書」に従って、2006年2月に私は、楊名時太極拳養心会を立ち上げました。皆様のお陰で養心会は順調に育ってまいりました。ところが、2007年8月8日、私たちがいつても多分、故楊名時先生に起こりてしまった。それはNPO法人日本健康太極拳協会(理事長 楊進徳)の関連法人である有限会社楊名時太極拳事務所(代表取締役 渋谷忠)より、訴訟を起こされたことでした。楊名時太極拳という名前を看板に使用してはいけないというものでした。私たちが楊名時先生が、争いにならないうちにのれん分けの許可書を書き残していたことに、のれん分けの許可書を書き残して下さった楊名時先生のお心を大切にしたい。楊名時先生の型と志をより深く継承してまいります。

引き続き、皆様のご支援よろしくお願致します。

「楊家養心会太極拳」では、のれん分けして下さった楊名時先生のお心を大切にしたい。楊名時先生の型と志をより深く継承してまいります。

引き続き、皆様のご支援よろしくお願致します。

## 腕にヒヨドリが

茶木 康晴

昨年11月20日、関西空港前のりんくう公園で一人で太極拳の演舞の後、一羽の野生のヒヨドリが私の左腕に留まり、しばらく目を合わせていました。警戒心の強い鳥がなぜ私の腕に留まったか分かりませんが、その時、楊名時先生の逸話を思い出しました。

私にとつて非常に珍しい体験をしました。これからは自然と順応した演舞を目指して行きたい、今日この頃です。(年賀状より)

## 会費納入のお願い

20年度会費は三千元ですが、平成19年10月、20年1月までに納入された方は、半額の千五百円となります。お手数をお掛け致しますが、お教室担当の先生方は会費を取りまとめ、5月31日まで養心会事務局宛にお送り下さいませよう、お願い致します。

## 楊先生を偲ぶ交流大会

恒例となりました楊名時先生を偲ぶ太極拳交流大会を、6月14日(土)、午後1時より開催致します。超多忙の中、津津良一先生がご出席下さいますので、ご講演をお願い致しております。

場所は昨年と同じ、東京中央区の京橋プラザです。

## お知らせ 定例指導者研修会

3ヶ月間お休みしていました楊麻紗主宰による定例指導者研修会を、3月から再開致しました。場所は、前期と同じフィットネスプラザ(YASU GALLERY)地下2Fダンススタジオです。会報第3号に於いてお知らせした日にちが、変更になりましたのでお間違いないよう、お願い致します。

【4月27日→4月20日・5月25日→5月18日】

日時	第7回 3月23日(日) テーマ: 遺失(前期の復習と続き) 第8回 4月20日(日) テーマ: 楊名時先生の指導法について 第9回 5月18日(日) テーマ: 太極拳の流派について 13:30~15:00
場所	フィットネスプラザ (YASU GALLERY) 地下2Fダンススタジオ 東京都渋谷区神宮前5-51-1 (地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線表参道駅)
会費	TEL 03-5485-5330
服装	2,000円 当日受付
テーマ	道着、又はTシャツとズボン 上履持参
資格	奥伝以上



● ホームページ用原稿募集!! ●

ホームページを更に充実したいと思えます。各地の行事、情報、レポート、写真等、事務局までお寄せ下さい。

● ホームページアドレス ●  
<http://www.taikyokuken.jp>

【募集要項】  
春本番、万物が蘇生する好季節となりました。楊名時太極拳養心会も楊家養心会と名前を変え、楊名時太極拳の王道を歩むために、会員同志の絆を更に深めて行きますよう。(山名唯美)

楊 麻紗	10万円
山本 正芳	5万円
山内 花枝	3万円
山根 鈴子	2万円
久原由美子	1万円
古野 博美	1万円
清古 愛弓	1万円
藤田トモ子	1万円

寄付を頂きました。